

2026年4月17日
株式会社三菱UFJ銀行

ポート株式会社と「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 おおさわ まさかず 大澤 正和）は、ポート株式会社（代表取締役社長 かすが ひろふみ CEO 春日 博文、以下「ポート」）との間で、系統用蓄電池の購入及び蓄電所の施工資金を資金使途とした「グリーンローン」による融資契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

本資金使途における設備資金は、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面・社会面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトであることを確認しています。

なお、本ローンでは、新たに「ポート グリーンファイナンス・フレームワーク」を策定し、株式会社格付投資情報センターよりグリーンローン原則への準拠について第三者意見書を取得しております。また、弊行はサステナビリティ・コーディネーターとしてフレームワーク策定を支援しました。

ポートは、2011年に設立した東京都新宿区に本社を置く企業で、「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、企業の経営課題である成約活動に対して、高い成約力とマルチチャネルマーケティング力で、ポートが集客～成約までの KPI を背負うことで、掛け捨てリスクをゼロにし、成約時に報酬が発生する成果報酬型モデルとなる成約支援事業を展開しています。

2030年に向けた5か年の新中期経営計画方針（PORT ODYSSEY800）においても「エネルギー領域のバーティカル支援構想」として販売活動に関する成約支援及び通電・調達に関する業務支援を一気通貫で提供することで、電力事業者にとって必要不可欠な存在になることを目指すとしており、今般、系統用蓄電池事業への参入を決定いたしました。

【本ローンの概要】

契約締結日	2026年4月17日
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	16億円
資金使途	系統用蓄電池の購入及び蓄電所の施工資金

<プロジェクト概要>

グリーンローン原則上の区分	適格クライテリア
再生可能エネルギー	系統用蓄電池の購入及び蓄電所の施工資金



株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFU Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上